



ADK

62nd BUSINESS REPORT

株式会社アサツー ディ・ケイ

第62期 報告書

平成28年1月1日～平成28年12月31日



代表取締役社長・グループCEO

植野 伸一

基盤構築と構造改革を継続しながら 最適なソリューションを提供できるプロフェッショナルを目指します。

第62期(2016年度)の連結業績について

第62期は、企業収益や消費に見られる国内経済の改善傾向を背景に、広告業界も概ね堅調に推移しました。その中で当社は、収益管理体制の強化を継続することで売上総利益率を改善し、グループ全体の構造改革、内製化の推進に注力しました。

結果として連結業績は、テレビタイム、マーケティング・プロモーション、制作の収益性が改善したことにより主に単体の売上総利益率が向上し、販管費の伸びもコントロールできたこと等により連結売上総利益、連結営業利益とも増益となりました。一方、株式会社日本文芸社の売却や、為替の影響ならびに中国圏子会社の構造改革の遅れが影響し、親会社株主に帰属する当期純利益は減少となりました。

第63期(2017年度)の基本戦略について

当社は、具体的に消費者を動かし、クライアントのビジネス成果に貢献する「コンシューマー・アクティベーション・カンパニー(※1)」への転換を目指す「VISION 2020」を掲げています。今期におきましては、引き続き収益基盤を確立するために、単なる販売代理からソリューション提供への転換を図り、コンテンツとしてのメディア価値を増幅できるクライアントのパートナーを目指します。メディア&データインサイトセクターにおきましては、既に大胆な組織改編を実施いたしました。新たな組織のもと、コンテキスト(文脈)で消費者とブランドを結び、最適なソリューションを提供してまいります。

グループ内製化、セクター(※2)間の連携の強化も進めてまいります。とくにセクター間の連携はまだ十分とは言えず、グループ全体の収益の底上げには、各セクターがシナジーを創出して付加価値を高めることが重要と考えております。さらに、不調が続く中国圏子会社においては、市場の急速な変化に対応するために構造改革を断行し、当社の強みであるコンテンツビジネスにおいては、タイトルラインナップの拡充、制作力向上、海外配信の拡充を進めてまいります。

また今期からは社員の研修プログラムの拡充を図り、最適なソリューションを提供するプロフェッショナルの育成により注力しております。

第63期(2017年度)の見通しについて

第63期(2017年度)の連結業績見通しは、売上高3,547億円(前期比0.6%増)、営業利益62億3千万円(同11.9%増)、経常利益92億5千万円(同6.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益55億8千万円(同134.8%増)としています。引き続き、適正な利益管理体制の構築と運用を継続しながら、基盤構築や多様な商材開発を図り、同時に構造改革も進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループ事業の持続的な成長にご期待いただき、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※1 コンシューマー・アクティベーション(CA):消費者にメッセージを伝えるだけでなく、「消費者をどう動かすか=消費者(コンシューマー)をアクティベートする」ことをゴールに置く、統合型コミュニケーションの進化形。

※2 セクター:関係会社も含めたグループ内バリューチェーン構築の単位。主要事業領域ごとに「国内基幹事業」「ADKグローバル」「メディア&データインサイト」「コンテンツ・ビジネス」「エンタテインメント&スポーツマーケティング」の5つに分類。

2016年までの中期経営計画レビュー

経営成績

| | FY2016 (百万円) | | |
|--------------|------------------|------------------|----------|
| | 2013/8公表 当初計画 | 2016/2公表 期初計画 | 実績 |
| 売上高 | 373,600 | 354,000 | 352,671 |
| 売上総利益 | 52,900 | 49,960 | 51,182 |
| (販売費及び一般管理費) | (45,900) | (44,560) | (45,613) |
| 営業利益 | 7,000 | 5,400 | 5,569 |
| オペレーティングマージン | 13.2% | 10.8% | 10.9% |

主な成果

| 基盤構築・ 構造改革 | 項目 | FY2013 | → | FY2016 | 改善 |
|---------------|--------------|--------|---|--------|------------|
| | 売上高総利益率 | 13.2% | | 14.5% | > 1.3pts改善 |
| | オペレーティングマージン | 3.1% | | 10.9% | > 7.8pts改善 |
| | 人件費分配率 | 65.4% | | 60.3% | > 5.1pts改善 |

| M&A | 時期 | 領域 | 内容 | FY2016 営業利益(百万円) |
|-----|--------|-------|---------------------------|---------------------|
| | 2014/6 | デジタル | アクシバル設立(連結子会社化はFY2016 Q1) | +46 |
| | 2015/1 | コンテンツ | d-rights子会社化 | +200 |
| | 2016/9 | コンテンツ | ゴンゾ子会社化 | ▲201 |

課題

海外事業

- 中国圏子会社などの不振

コンテンツ事業

- 収益の伸び悩み
- M&Aによるグループでの機能・収益源拡充の推進過程

グループ連携・ セクター間連携

- プロセス・ガバナンス体制を推進するも未完成
- ビジネス連携が不十分

2017年12月期における基本方針

基盤構築・構造改革の継続

収益基盤の確立

販売代理から、ソリューション提供への転換

- ① コンテンツとしてのメディア価値を増幅できるパートナーへ
- ② “コンテキスト(文脈)”で消費者とブランドを結ぶマーケティング
- ③ データサイエンスの事業化

グループ連携・ セクター間連携の強化

グループ内製化/セクター間連携の推進

- ① グループ会社の機能再編・相互補完
 - ② 人材の機動的な流動化・再配置
- グループ会社の管理機能統合
- ③ 国内外グループ会社の支援・管理体制を確立

中国圏子会社・ コンテンツビジネスの改善

中国圏子会社

- ① 「総合」から「専門」への変化に対応する構造改革の断行

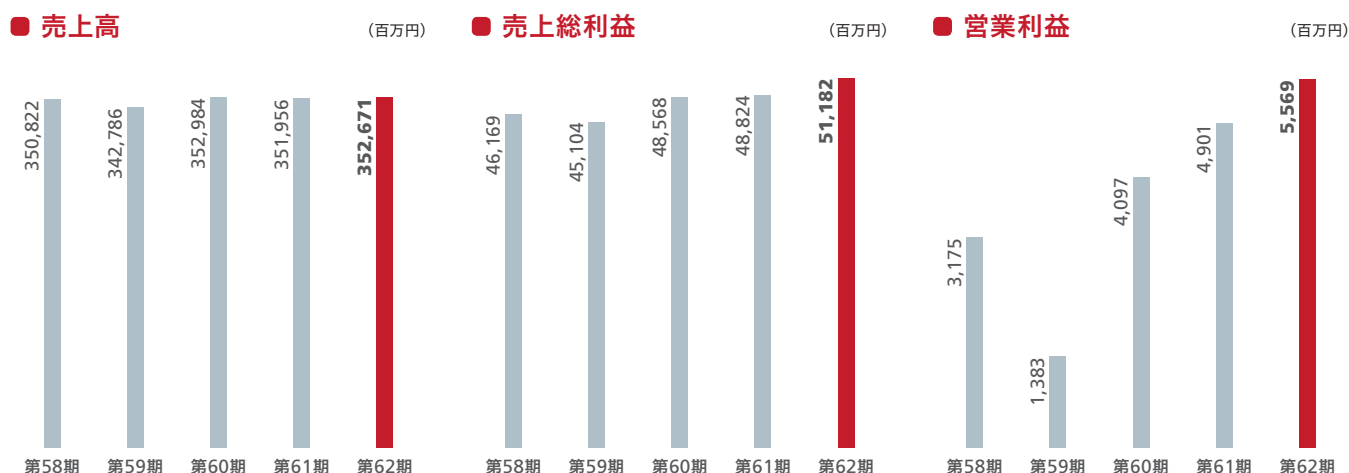
コンテンツビジネス

- ② M&A実行後のシナジー創出
 - ▶ タイトルラインナップ拡充(ヤングアダルト向けアニメ)
 - ▶ 制作力向上
 - ▶ 海外配信拡充
- ③ ライツマーケティングの確立
- ④ マーケットイン発想のビジネス創出
 - ▶ アジア市場、公共テーマ

5カ年業績推移

| 決算期(年度) | 第58期 | 第59期 | 第60期 | 第61期 | 第62期 |
|--------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 経営成績(百万円) | | | | | |
| 売上高 | 350,822 | 342,786 | 352,984 | 351,956 | 352,671 |
| 売上総利益 | 46,169 | 45,104 | 48,568 | 48,824 | 51,182 |
| 営業利益 | 3,175 | 1,383 | 4,097 | 4,901 | 5,569 |
| 営業利益率(%) | 0.9 | 0.4 | 1.2 | 1.4 | 1.6 |
| 経常利益 | 5,314 | 4,327 | 7,251 | 8,590 | 8,688 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,781 | 3,430 | 3,696 | 5,362 | 2,376 |
| 総資産 | 195,163 | 228,170 | 243,317 | 235,205 | 227,260 |
| 純資産 | 109,559 | 130,972 | 134,999 | 125,488 | 113,225 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,581 | 3,175 | 8,169 | 10,192 | 11,637 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,719 | 6,270 | △177 | 5,046 | △4,475 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,184 | △6,336 | △6,640 | △23,803 | △11,912 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 27,264 | 32,410 | 35,082 | 25,924 | 21,027 |
| 財務指標(%) | | | | | |
| 自己資本当期純利益率(ROE) | 2.7 | 2.9 | 2.8 | 4.2 | 2.0 |
| 自己資本比率 | 55.6 | 56.9 | 55.1 | 52.7 | 49.1 |
| 1株当たりデータ(円) | | | | | |
| 1株当たり当期純利益(EPS) | 65.83 | 81.79 | 88.32 | 127.72 | 56.96 |
| 1株当たり純資産額(BPS) | 2,567.03 | 3,105.40 | 3,204.87 | 2,947.40 | 2,674.92 |
| 1株当たり年間配当金 | 111.00 | 141.00 | 571.00 | 248.00 | 100.00 |

連結決算の概況



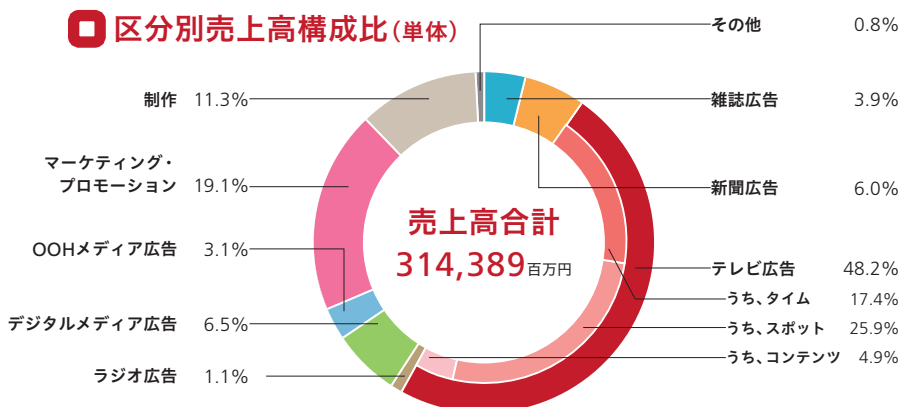
資産関連増減ポイント

資産合計 のれん計上による無形固定資産の増加の一方で、主に配当金の支払いによる現金及び預金の減少や、時価下落に伴う投資有価証券の減少などにより、前期末に比べ79億45百万円減少の2,272億60百万円となりました。

負債合計 主に賞与引当金、支払手形及び買掛金、および1年内返済予定の長期借入金増加などにより、前期末に比べ43億18百万円増加の1,140億34百万円となりました。

純資産合計 1,132億25百万円、非支配株主持分および新株予約権を除いた自己資本比率は49.1%となりました。

区別売上高構成比(単体)



(注) 1. 広告市場の成熟化やメディア環境の多角化に伴い、当社は広告主に統合的ソリューションを提供しており、区別の売上高を厳密に分別することが困難な場合があります。従って、上記の区別売上高は、厳密に各区分の売上高を反映していないことがあります。

2. コンテンツには、アニメコンテンツ、文化スポーツマーケティングなどが含まれます。
3. デジタルメディアには、インターネット、モバイル関連メディアなどが含まれます。(WEBサイト制作・システム開発などデジタルソリューションは「マーケティング・プロモーション」に含まれます)
4. OOH(アウト・オブ・ホーム)メディアには、交通広告、屋外広告、折込広告などが含まれます。
5. マーケティング・プロモーションには、マーケティング、コミュニケーション・プランニング、プロモーション、イベント、PR、博覧会事業、デジタルソリューションなどが含まれます。

通期連結業績の見込み

売上高
354,700百万円 (0.6%増)

営業利益
6,230百万円 (11.9%増)

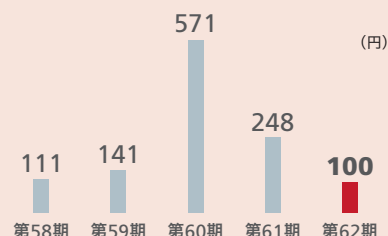
経常利益
9,250百万円 (6.5%増)

親会社株主に帰属する当期純利益
5,580百万円 (134.8%増)

1株当たり当期純利益
134.55円

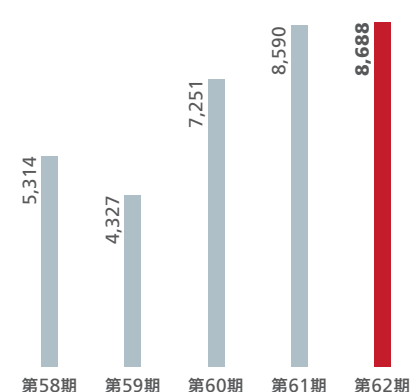
株主還元方針

当社は、原則として1株当たり年間配当額の下限を20円として配当の長期安定性を図りながらも、自己株式取得を含む年間総還元性向の目安を連結当期純利益の50%として年間配当を実施することを方針としております。中間基準日配当は安定的に10円を原則とし、期末基準日配当は下限の10円または年間総還元性向50%の目安を達成する金額のいずれか高い額としております。



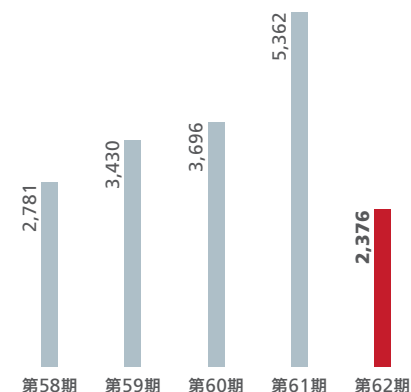
経常利益

(百万円)



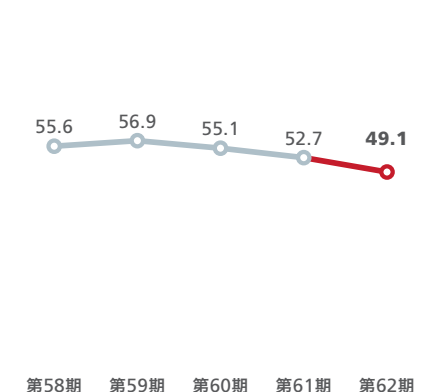
親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



自己資本比率

(%)



NEWS ADK News Digest

ADKニュースダイジェスト

ADKの採用施策「相棒採用」が 日本の人事部「HRアワード2016」優秀賞を受賞

2017年度の採用にて導入した施策「相棒採用」が、「全国90,000人の人事パーソン」が選ぶ、日本の人事部「HRアワード2016」におきまして、企業人事部門優秀賞を受賞いたしました。

「相棒採用」は、相棒社員候補が採用サイトにプロフィールや日々の活動を掲載、それを見た応募者が社員を指名し選考を受けることができる仕組み。採用市場において新たなソリューションを提供したとの評価をいただき、今回の受賞となりました。



第63回「カンヌライオンズ」で、ADK台湾が 「ライオンズエンタテインメント」の エンタテインメント部門でゴールド賞を受賞

2016年6月、フランス カンヌ市で開催された第63回カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル※におきまして、海外現地法人である UNITED ASATSU INTERNATIONAL Ltd. (以下ADK台湾) が制作した作品が、今年新設された「ライオンズエンタテインメント」のエンタテインメント部門でゴールド「カンヌライオンズ」のメディア部門でシルバーを受賞いたしました。

※当フェスティバルは世界で最も権威あるクリエイティブ・アワードの一つで世界各国から43,101点の応募がありました。

CSR活動

創業60周年の記念CSR/CSV活動スタート： “ブレイン”を貸し出すサービス「ブレインタル」

創業60周年の記念事業として、新しいカタチのCSR/CSVプロジェクト「ブレインタル」をスタートし、たくさんのご応募をいただきました。

「ブレインタル」とは、「ブレイン」×「レンタル」の造語で、ご相談いただいた「課題」や「悩み」に対して、社員有志の多様なスキルや知恵＝ブレインを無償で貸し出し、アイデアやソリューションを提供するお手伝いをしています。



虎ノ門ヒルズで子どもたちのための 「ADKグローバルワークショップ」開催



虎ノ門ヒルズ内アトリウムにおいて、子どもたちのための「ADKグローバルワークショップ」を開催しました。当社社員が考案した海外でも人気の知育絵本を使い、ボランティアの当社社員が英語・日本語・中国語で子どもたちのオリジナル作品づくりをサポートしました。

今後も、広告会社ならではのクリエイティビティとグローバルなスキルを生かし、子どもたちの成長を助ける活動を行ってまいります。

● 会社の概要

商号 株式会社アサツー ディ・ケイ
 英文表記 ASATSU-DK INC.
 略称 ADK
 本店所在地 〒105-6312
 東京都港区虎ノ門一丁目23番1号
 03-6830-3811 (代表案内)
 設立 昭和31年3月19日
 資本金 375億8,136万6,100円
 従業員数 1,871名 (単体)
 ウェブサイト <http://www.adk.jp>

● 取締役

平成29年3月29日現在

代表取締役社長・グループCEO 植野 伸一
 取締役 専務執行役員 中井 規之
 取締役 執行役員 植村 好貴
 取締役 執行役員・CFO 石渡 義崇
 取締役 スチュアート・ニーシュ
 社外取締役・取締役会議長 木戸 英晶
 社外取締役・監査等委員会委員長 木下 俊男
 社外取締役・監査等委員 吉成 昌之
 社外取締役・監査等委員 首藤 恵

● 株式の状況

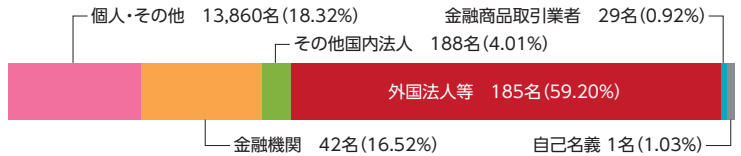
発行可能株式総数 206,000,000株
 発行済株式の総数 42,155,400株
 株主総数 14,305名

(注) 発行済株式の総数には自己株式 (432,400株) を含んでおります。

● 大株主の状況

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|--|----------|----------|
| ダブリューピーピー インターナショナル ホールディング ビーヴィ | 10,331 | 24.51 |
| NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST | 2,882 | 6.84 |
| ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ ユーエス タックス エグゼンブテド ペンション ファンズ | 1,745 | 4.14 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 1,164 | 2.76 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 1,159 | 2.75 |
| NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT | 1,071 | 2.54 |
| ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) アカウント ノントリーティー | 1,025 | 2.43 |
| ザ バンク オブ ニューヨーク メロン エスエー エヌバイ 10 | 886 | 2.10 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・三菱商事株式会社口) | 765 | 1.81 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9) | 659 | 1.56 |

● 所有者別株式分布状況



● 連結対象会社の状況

● 連結子会社 ● 持分法適用会社 (注) 連結対象会社の内訳は、連結子会社が37社であり、持分法適用会社が7社であります。

- 日本**
- 株式会社協和企画 (東京都港区)
 - 株式会社ADKインターナショナル (東京都港区)
 - 株式会社ADKアーツ (東京都港区)
 - 株式会社ADKダイアログ (東京都港区)
 - 株式会社アクシバル (東京都港区)
 - 株式会社ゴンゾ (東京都杉並区)
 - 株式会社エイケン (東京都荒川区)
 - 株式会社ADKデジタル・コミュニケーションズ (東京都港区)
 - 株式会社ライトソング音楽出版 (東京都港区)
 - 株式会社ディーライツ (東京都港区)
 - 株式会社中国物語 (東京都港区)
 - 株式会社ADK保険サービス (東京都港区)
 - 株式会社DAサーチ&リンク (東京都中央区)
 - 株式会社ドリル (東京都渋谷区)
 - 株式会社エイエスピー (東京都新宿区)
 - 株式会社プレミア・クロスパリユー (東京都千代田区)
- ヨーロッパ**
- エイディケイインサイツ (アムステルダム)
 - アサツードイツ (フランクフルト)
- 米国**
- エイディケイアメリカ (ニューヨーク)
 - サンライツ (ニューヨーク)

- アジア**
- アサツー ディ・ケイホンコン (香港)
 - ディケイアドバタイジング (香港)
 - 旭通世紀 (上海) 广告有限公司 (上海)
 - 上海旭通广告有限公司 (上海)
 - 旭通 (上海) 展覧广告有限公司 (上海)
 - 北京IMMG国際文化伝媒有限公司 (北京)
 - 聯旭國際股份有限公司 (台北)
 - 太一廣告股份有限公司 (台北)
 - アサツー ディ・ケイシンガポール (シンガポール)
 - スクープアドワールド (シンガポール)
 - IMMGシンガポール (シンガポール)
 - IMMGインドネシア (ジャカルタ)
 - エイディケイタイホールディング (バンコク)
 - アサツータイランド (バンコク)
 - アズディック (バンコク)
 - ダイイチキカクタイランド (バンコク)
 - アサツー ディ・ケイマレーシア (クアラルンプール)
 - ダイイチキカクマレーシア (クアラルンプール)
 - アサツー ディ・ケイベトナム (ホーチミン)
 - ディアイケイベトナム (ホーチミン)
 - アサツー ディ・ケイコリア (ソウル)
 - 広東旭整合营销传播有限公司 (広州)
 - 北京東方三盟公共関係顧問有限公司 (北京)
 - 奥旭 (上海) 市場營銷服務有限公司 (上海)



株主メモ

| | |
|-----------|--|
| 事業年度 | 毎年1月1日から12月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年3月 |
| 1単元の株式数 | 100株 |
| 剰余金配当の基準日 | 毎年6月30日および毎年12月31日 この他、必要があるときはあらかじめ公告して定めます。 |
| 株主総会の基準日 | 毎年12月31日 この他、必要があるときはあらかじめ公告して定めます。 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 東京証券代行株式会社 なお、お取次は三井住友信託銀行株式会社全国本支店 (コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く。) にて行っております。 |
| 同連絡先 | 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009 |

公告方法 電子公告 (<http://www.adk.jp>)
ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関する 手続きのご案内

- ①ご住所等、各種株主様情報の変更に関する届出
 - ②配当金の受取方法のご指定
 - ③単元未満株式の買取・買増請求
- ①～③のお手続きに関しましては、当社株式を証券会社に開設された口座にてご保有の株主様は、当該証券会社へお問い合わせください。なお、証券会社に当社株式についての口座がないため特別口座が開設された株主様は、左記株主名簿管理人へお問い合わせください。
- ④未払い配当金のお支払
- ④のお手続きに関しましては、左記株主名簿管理人へお問い合わせください。

ADKのIRサイトでは過去の決算情報、IRカレンダー、本冊子のPDF版など多様なコンテンツを掲載しております。また、メール配信サービスにご登録いただくことで最新のIRニュースを配信いたします。

ADK IR

GO

www.adk.jp/ir/



この冊子は環境保全のため、
植物油インキとFSC®認証紙
を使用しています。

